

令和2年度 前期選抜の選抜・評価方法

学校番号 16

千葉県立柏井高等学校 全日制の課程 普通科

1 期待する生徒像

本校での高校生活を強く希望しており、次のアからウのいずれかに該当する生徒

ア 学習成績が優れており、入学後も積極的に学習に取り組む意志を持っている。

イ 部活動・特別活動等に優れた実績又は能力・適性を持ち、入学後もそのことを高校生活に生かし、継続して活動する意志を持っている。

ウ 英語圏のみならず、グローバルな視野を持ち、将来、世界で活躍しようとする意志を持っている。

2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 自己表現	次のア、イのいずれかを、出願時に志願者が選択 ア 文章による自己表現 与えられた題について、字数601字以上800字以内の文章で表現する 実施形態：検査室で一斉に実施する 検査時間：50分 イ 運動系実技による自己表現 次の部活動実技のうち1つを選択し、与えられた課題について実技で表現する 野球（男）・陸上競技（男女）・サッカー（男）・ソフトボール（女）・テニス（男女）・ソフトテニス（男女）・バレーボール（男女）・バスケットボール（男女）・剣道（男女）・卓球（男女） 実施形態：個人で発表（団体種目は複数人数で実施） 検査時間：約50分

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査 [500点満点]

評価項目	評価基準
5教科の得点合計	5教科（各教科100点満点）の合計500点満点で評価する。

(2) 調査書 アの数値を調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	算式1で求めた数値で評価する。 評定1または未評価の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	各学年いずれかにおいて欠席が20日以上ある場合、または3カ年の合計が30日以上ある場合は、審議の対象とする。 3カ年皆勤である場合は総合的に判定する際の参考とする。
ウ 行動の記録	総合的に判定する際の参考とする。
エ 特別活動の記録、部活動の記録及び特記事項	特に積極的に取り組んだと認められる記述がある場合は、総合的に判定する際の参考とする。（生徒会本部役員、優秀選手、県大会出場・関東大会出場・全国大会出場、漢検・英検等）
オ 総合所見	総合的に判定する際の参考とする。

(3) 自己表現 [160点満点]

次のア、イについて、それぞれ3名の評価者が、4つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a(優れている)・b(標準的である)・c(問題がある)の3段階で評価し、3名の評価者の評価の組合せ(aaa~ccc)ごとに得点化する。全ての評価項目がcccの評価の組合せの場合は、審議の対象とする。

ア 文章による自己表現

評価項目	評価基準
(ア) 字数・全体構成	指定された字数に対して過不足がない。全体としてのまとまりがある。
(イ) 内容	与えられた題に対して内容が適切である。
(ウ) 文章表現	適切な語句や表現を使い、誤字脱字無く明確に表現している。
(エ) 意欲・将来性	自分自身の考えが具体的に表現され、入学後の活躍が期待できる。

イ 運動系実技による自己表現

評価項目	評価基準
(ア) 態度	真摯で協調的な態度で取り組んでいる。
(イ) 意欲	自己を意欲的に表現している。
(ウ) 能力・技能	専門的な運動能力と技能を身に付けている。
(エ) 資質・将来性	積極的に取り組み、入学後の活躍が期待できる。

4 選抜方法

(1) 選抜の方法

ア 「学力検査の成績」と「調査書の得点」の合計により順位をつけたとき、次のパーセント以内にある者は、入学許可候補者として内定する。

(ア) 受検者数が予定人員以内のときは、受検者数の50パーセント

(イ) 受検者数が予定人員を超えるときは、予定人員の50パーセント

ただし、調査書の教科の学習の記録、出欠の記録、行動の記録及び第2日の検査(自己表現)の結果等に問題となる点がないこと。

イ 上記アで決まらなかった者については、「学力検査の成績」と「調査書の得点」の合計に「第2日の検査(自己表現)の得点」を加えた「総得点」で順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、予定人員までを入学許可候補者として内定する。

<総得点の満点の内訳>

学力検査の成績	調査書の得点 評定(算式1)	第2日の検査の得点 自己表現	総得点
500点	$(135 + \alpha - m)$ 点	160点	$(795 + \alpha - m)$ 点

(算式1) α : 県が定める評定合計の標準値95

m : 中学校評定合計平均値

(2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはしない。

5 その他

過年度卒業者については、第2日の検査終了後、別途個人面接を行う。

令和2年度 海外帰国生徒の特別入学者選抜の選抜・評価方法

学校番号 16

千葉県立柏井高等学校 全日制の課程 普通科

1 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 自己表現	<p>次のア、イのいずれかを、出願時に志願者が選択</p> <p>ア 文章による自己表現 与えられた題について、字数601字以上800字以内の文章で表現する 実施形態：検査室で一斉に実施する 検査時間：50分</p> <p>イ 運動系実技による自己表現 次の部活動実技のうち1つを選択し、与えられた課題について実技で表現する</p> <p>野球（男）・陸上競技（男女）・サッカー（男）・ソフトボール（女）・テニス（男女）・ソフトテニス（男女）・バレーボール（男女）・バスケットボール（男女）・剣道（男女）・卓球（男女）</p> <p>実施形態：個人で発表（団体種目は複数人数で実施） 検査時間：約50分</p>
(4) 海外在住状況説明書	実施要項（様式7）により、海外在住期間及びその前後の教育歴等を説明したもの

2 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査 [500点満点]

評価項目	評価基準
5教科の得点合計	5教科（各教科100点満点）の合計500点満点で評価する。

(2) 調査書 アの数値を調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	算式1で求めた数値で評価する。 評定1または未評価の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	各学年いずれかにおいて欠席が20日以上ある場合、または3カ年の合計が30日以上ある場合は、審議の対象とする。 3カ年皆勤である場合は総合的に判定する際の参考とする。
ウ 行動の記録	総合的に判定する際の参考とする。
エ 特別活動の記録、部活動の記録及び特記事項	特に積極的に取り組んだと認められる記述がある場合は、総合的に判定する際の参考とする。（生徒会本部役員、優秀選手、県大会出場・関東大会出場・全国大会出場、漢検・英検等）
オ 総合所見	総合的に判定する際の参考とする。

(3) 自己表現 [160点満点]

次のア、イについて、それぞれ3名の評価者が、4つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a(優れている)・b(標準的である)・c(問題がある)の3段階で評価し、3名の評価者の評価の組合せ(aaa~ccc)ごとに得点化したものを、総合的に判定する際の資料とする。

ア 文章による自己表現

評価項目	評価基準
(ア) 字数・全体構成	指定された字数に対して過不足がない。全体としてのまとまりがある。
(イ) 内容	与えられた題に対して内容が適切である。
(ウ) 文章表現	適切な語句や表現を使い、誤字脱字無く明確に表現している。
(エ) 意欲・将来性	自分自身の考えが具体的に表現され、入学後の活躍が期待できる。

イ 運動系実技による自己表現

評価項目	評価基準
(ア) 態度	真摯で協調的な態度で取り組んでいる。
(イ) 意欲	自己を意欲的に表現している。
(ウ) 能力・技能	専門的な運動能力と技能を身に付けている。
(エ) 資質・将来性	積極的に取り組み、入学後の活躍が期待できる。

(4) 海外在住状況説明書

評価項目	評価基準
記載内容	志願資格があることを確認する。

3 選抜方法

(1) 選抜の方法

中学校の校長から送付された調査書、海外在住状況説明書等の書類の審査並びに学力検査の成績及び自己表現の結果を資料とし、総合的に判定して選抜を行う。

(2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはしない。

4 その他

過年度卒業者については、第2日の検査終了後、別途個人面接を行う。

令和2年度 外国人の特別入学者選抜の選抜・評価方法

学校番号 16

千葉県立柏井高等学校 全日制の課程 普通科

1 選抜資料

(1) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(2) 面接	受検者1名・評価者3名の個人面接 日本語（必要に応じて英語） 検査時間：1名約10分
(3) 作文	日本語の場合は601字～800字、英語の場合は300語～400語 受検者が、日本語または英語を出願時に選択する。 検査時間：50分
(4) 外国人特別措置適用申請書	実施要項（様式8）により、入国年月日及びその前後の教育歴等を説明したもの

2 評価項目及び評価基準

(1) 調査書

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	評定の合計値を算式1により求めた値で評価する。 評定1の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	各学年いずれかにおいて欠席が20日以上ある場合、または3カ年の合計が30日以上ある場合は、審議の対象とする。 3カ年皆勤である場合は総合的に判定する際の参考とする。
ウ 行動の記録	総合的に判定する際の参考とする。
エ 特別活動の記録、部活動の記録及び特記事項	特に積極的に取り組んだと認められる記述がある場合は、総合的に判定する際の参考とする。（生徒会本部役員、優秀選手、県大会出場・関東大会出場・全国大会出場、漢検・英検等）
オ 総合所見	総合的に判定する際の参考とする。

(2) 面接

3名の評価者が、次の2つの評価項目について、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（問題がある）の3段階で評価する。

評価項目	評価基準
ア 人物・態度・表現力	身だしなみが適切である。応答の内容・態度、日本語または英語での表現力などが適切である。
イ 目的意識・意欲	本校の教育方針を理解している。また、入学後の活動に対する意欲が旺盛である。

(3) 作文

3名の評価者が、次の4つの評価項目について、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（問題がある）の3段階で評価する。

評価項目	評価基準
ア 字数・全体構成	指定された字数または単語数に対して過不足がない。全体としてのまとまりがある。
イ 内容	与えられた題に対して内容が適切である。
ウ 文章表現	適切な語句や表現を使い、的確な表現がされている。
エ 意欲・将来性	自分自身の考えが具体的に表現され、入学後の活躍が期待できる。

(4) 外国人特別措置適用申請書

評価項目	評価基準
記載内容	志願資格があることを確認する。

3 選抜方法

(1) 選抜の方法

中学校の校長から送付された調査書、外国人特別措置適用申請書等の書類の審査並びに面接及び作文の結果を資料とし、総合的に判定して選抜を行う。

(2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはいししない。

令和2年度 後期選抜の選抜・評価方法

学校番号 16

千葉県立柏井高等学校 全日制の課程 普通科

1 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 面接	受検者4または5名・評価者2名の集団面接 検査時間：1グループ約10分

2 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査

評価項目	評価基準
5教科の得点合計	5教科（各教科100点満点）の合計500点満点で評価する。

(2) 調査書

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	算式1で求めた数値で評価する。 評定1または未評価の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	各学年いずれかにおいて欠席が20日以上ある場合、または3ヵ年の合計が30日以上ある場合は、審議の対象とする。 3ヵ年皆勤である場合は総合的に判定する際の参考とする。
ウ 行動の記録	総合的に判定する際の参考とする。
エ 特別活動の記録、部活動の記録及び特記事項	特に積極的に取り組んだと認められる記述がある場合は、総合的に判定する際の参考とする。（生徒会本部役員、優秀選手、県大会出場・関東大会出場・全国大会出場、漢検・英検等）
オ 総合所見	総合的に判定する際の参考とする。

(3) 面接

2名の評価者が、次の2つの評価項目について、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（問題がある）の3段階で評価する。評価cがある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 人物・態度・表現力	身だしなみが適切である。基本的な面接作法が身に付いている。応答の態度、内容、表現力などが適切である。
イ 目的意識・意欲	本校の教育方針を理解している。入学後の活動に対する意欲が旺盛である。

3 選抜方法

(1) 選抜の方法

令和2年度千葉県公立高等学校入学者選抜実施要項に従い判定する。

(2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはない。

4 その他

過年度卒業者については、検査終了後、別途個人面談を行う。